

目 次
「臨床薬理」 第 42 巻 第 4 号 2011 年 7 月

第 32 回日本臨床薬理学会年会予告 (5) 121E

原著

A Clinical Trial Assessing the Efficacy and Safety of a New
Injectable Formula of Sodium Phenobarbital Containing
No Additives for the Treatment of Neonatal Seizures Kou KAWADA, et al. ... 205

短報

健康食品摂取に伴う健康被害報告の因果関係評価法の構築：
改定評価票による評価者間信頼性評価 松本 圭司ほか ... 211

第 17 回 臨床薬理学講習会 (2010 年度)

「医薬品開発の新しい動向」

1. 医薬品開発におけるモデル&シミュレーション,
バイオマーカーの活用 寺尾 公男 217
2. 早期探索的臨床試験 上村 尚人 222
3. 臨床試験における心臓安全性評価 杉 薫 226
4. イメージングバイオマーカーの現状と未来 玉木 長良 231
5. 国際共同試験の動向 岩崎 甫 237
6. 国際共同試験における日本の役割 渡邊 裕司 242

受賞報告 (2009 年度 臨床薬理研究振興財団賞学術奨励賞研究成果報告)

分子イメージング法を用いた創薬科学：薬物副作用と疾患病態研究 田代 学 245

REPORT

2008 年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その 4— 荒木 和浩 253

第 31 回 日本臨床薬理学会年会記録

- 目次 257
- シンポジウム 2 臨床試験と情報公開 259
- シンポジウム 6 これからの CRC：臨床試験を支援するスタッフの教育 267
- シンポジウム 10 臨床薬理における Modeling & Simulation のためのメトリクス 277
- シンポジウム 13 標準治療確立のための動脈硬化領域における医師主導臨床試験のあり方 285

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 279, 280 125E

投稿規定 129E

おしらせ

- 第 8 回認定 CRC 試験要項 131E
- 臨床薬理専門医更新手続き, 認定薬剤師更新手続き 他 133E
- 臨床薬理研究振興財団研究奨励金交付募集案内 136E

PROCEEDINGS

第31回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2010年12月1日(水)~12月3日(金)

場所 国立京都国際会館(京都)

会長 乾 賢一(京都大学名誉教授, 京都薬科大学学長)

- シンポジウム2: 臨床試験と情報公開……………(座長)津谷喜一郎, 別府宏閑
1. 臨床試験登録の現状と課題……………木内 貴弘ほか…259
 2. 臨床研究者にとっての臨床試験とCOI開示……………曾根 三郎ほか…261
 3. 患者にとっての臨床試験と情報公開……………中 澤 幾 子…263
 4. 企業にとっての臨床試験と情報公開……………高 見 和 夫…265
- シンポジウム6: これからのCRC: 臨床試験を支援するスタッフの教育……………(座長)中野重行, 山田 浩
- 座長のまとめ……………中野 重行ほか…267
1. CRCの教育: その育成を推進してきた医師の立場から……………中 野 重 行…269
 2. 未承認薬・未承認機器の臨床試験を支援するために……………新美三由紀ほか…271
 3. がん領域におけるCRCの専門教育の現状と課題……………齋 藤 裕 子…273
 4. SMOの立場から……………仁 科 美和子…275
- シンポジウム10: 臨床薬理における Modeling & Simulation のための
メトリクス……………(座長)矢野義孝, 谷河賞彦
1. これからの臨床薬理 M&S に必要な Pharmacometrician 養成……………矢 野 義 孝…277
 2. Clinical Mechanistic Profiling of a Novel DPP-4 Inhibitor,
Vildagliptin, for the Treatment of Type 2 Diabetes Mellitus……………Yan-Ling He…279
 3. 臨床薬理における Modeling & Simulation のためのメトリクス
—製薬企業の立場から—……………谷 河 賞 彦…281
 4. Fostering Talented Modelers in M&S: A Consultant's Perspective……………D. Russell Wada…283
- シンポジウム13: 標準治療確立のための動脈硬化領域における
医師主導臨床試験のあり方……………(座長)植田真一郎, 松岡秀洋
- 座長のまとめ……………植田真一郎ほか…285
1. オーバービュー Effectiveness を評価する医師主導型研究
必要性と適切な研究計画, 研究基盤……………植 田 真一郎…287
 2. 脳卒中再発予防の大規模臨床試験 RESPECT STUDY の開始……………島 田 和 幸…289
 3. 厚生労働省科研費による臨床試験 糖尿病合併冠動脈疾患における積極的脂質低下療法と
降圧療法に関するランダム化臨床試験と観察研究……………植 田 真一郎…291
 4. 循環器領域の医師主導多施設共同研究……………木 村 剛…293
 5. 臨床研究者育成の教育プログラム……………森 本 剛…295